



Nの家族（小出檜重筆）



指定区分	国指定重要文化財(絵画)
読みかた	えぬのかぞく こいでならしげひつ
所在地	倉敷市中央 大原美術館
指定年月日	平成15年5月29日
解説	小出檜重は大正期の日本洋画を代表する画家。大阪府出身。特に裸婦を主題とする作品で名高い。本品は、自分と妻子を描き、二科展(第6回)に初めて出品した作で、二科展の新人賞にあたる檜牛(ちよぎゅう)賞を受けた。その後二科会会員として、大阪を拠点に活動。日本的、地域的な作風を追求し、独自の世界を作り上げた。
アクセス方法	JR倉敷駅から徒歩約15分
公開状況	大原美術館分館にて展示(貸し出し中の場合有り) [問い合わせ先]大原美術館 086-422-0005
設備	<p>駐車場は倉敷美観地区周辺の有料駐車場を利用</p> <p>トイレ  障害者用トイレ </p>
備考	

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定重要文化財(絵画)
ぶんかざいめい (文化財名)	Nの家族 (小出櫓重筆)
よみかた	えぬのかぞく こいでならしげひつ
しよざいち (所在地)	倉敷市中央 大原美術館
していたひ (指定した日)	平成15年5月29日
せつめい	大正時代(たいしょうじだい)に日本の洋画家(ようがが)を代表(だいひょう)する小出櫓重(こいでならしげ)の作品です。この絵は二科展(にこてん)という日本でもとてもすぐれた作品が集まる展覧会(てんらんかい)の6回目に出品されて、新人賞(しんじんしょう)を受賞(じゅしょう)した作品です。